

馬場記念病院 消化器科 後期臨床研修プログラム

1. 研修方式 ストレート

2. 到達目標

消化器疾患の診療に習熟し、専門医としての知識・技能を身に付ける。

内科学会認定医取得の後（消化器系専門医取得のために必須）、消化器病学会専門医を取得することを目指す。

3. 指導体制

研修責任者：部長 原 順一

4. 年次別消化器科研修カリキュラム

年次別カリキュラムと到達目標の概略は以下のとおり

細目は日本消化器病学会「専門医研修カリキュラム」に準ずる

【1年次】 指導医と共に入院患者を担当し（5-10名程度）、救急・時間外外来の担当を受け持つ。並行して上部消化管内視鏡と腹部超音波の研修を開始する。内科学会認定医取得に必要な疾患を受け持つ。

目標： 心肺蘇生術の適切な実施

急性期消化器疾患に対する初期対応

主要消化器疾患の初期診療

消化管造影・腹部 CT/MRI 読影

上部消化管内視鏡検査（シミュレーターより開始）スクリーニング

腹部超音波検査スクリーニング

学会・研究会での症例報告発表

【2年次】 上級医の指導の下、入院患者（10名前後）と救急・時間外外来を担当する。下部消化管内視鏡と治療内視鏡の研修を開始する。一定レベルに達した者から緊急内視鏡のオンコールを受け持つ。

目標： 急性期消化器疾患の診断と治療

急性期腹部症状患者の鑑別診断

消化器癌の診断

ウイルス性肝炎・肝硬変の治療

治療内視鏡（止血術と EVL）研修開始

下部消化管内視鏡検査スクリーニング

内科学会認定医取得

学会・研究会での発表

【3年次】 入院患者、救急・時間外外来を受け持つほか、週1回の外来を担当する。後輩医師への指導

を行なう。

- 目標：
- 急性腹症の鑑別と手術適応を含めた治療計画
 - 消化器癌の治療適応
 - 消化器癌の化学療法
 - 慢性期消化器疾患の指導・管理
 - 炎症性腸疾患の急性期治療
 - 胆道疾患の診断と治療
 - 治療内視鏡（ポリペクトミー・ESD・ERCP・EIS）研修開始
 - 肝癌経皮的治療の基本手技
 - 症例報告の論文発表

5. 施設認定

- 日本消化器病学会認定施設
- 日本消化器内視鏡学会指導施設
- 日本大腸肛門病学会認定施設
- 日本内科学会認定教育関連病院